中学基礎がため100%

できた! 中学国語

文 法

別 冊 解答と解説

KUM()N

→ていねいに引っぱってください。別冊解答になります。

言葉の単位 ①言葉の単位 文章·段落·文 段落 文節·単語

P.4

確認

90

(1) 🕝

1

文

(7)

段落の初め…最近の・それは

例えば・しかし

(順不同)

文節 (3)

P.5

0

(2)

数…四

(上から) 文

32

(5) (4) (3) (2) (1) (1)

В В

ァ ア

単語



В В В

P.7

確認

②

振り回す

(5)(4)(3)(2)

弁当を/残さず/きれいに/食べた。 母は/本を/読むのが/好きだ。

二人で/重い/荷物を/部屋に/運ぶ。

今年の/夏は/意外と/涼しいと/思う。

チェックする

心苦しい

注意する

(4) (3) (2) (1) (4) (3) (2) (1) 高く/舞い上がる。

とても/書きやすい。

/夜は/暑苦しい。

父が/弟を/呼び出す。 映画を/見て/感動する。

重苦しい/空気が/会議室に/流れる。

静かでは/ない・よくは/ない 目前に/広がる/風景を/スケッチする。 歌詞が/難しいので/歌いにくい。

確認

悔しくは/ない・確実では/ない

(順不同)

(5) (4) (3) (2) (1) (4) (3) (2) (1)

0

あまり/大きく/ない。

部屋は/きれいで/ない。

P.6

確認

Û

美しいく絵がくある。父とく散歩をくする。犬がく走る。

(1) (5) (4) (3) (2) (1) (3) (2) (1)

新幹線で/京都へ/行く。

庭に/水を/まく。

先生は

/いつも/やさしい。

言葉の単位

② 文節と単語

文節と単語の分け方 1

君の/手伝いは/必要で/ない。 プールの/水が/冷たく/ない。

友達の 距離が/近く/ないので/疲れた。 /努力は/決して/むだで/

ない。

/来ないから/おもしろく/ない。 /ない/理由が/わからない。

/釣れないのは/珍しく/ない。

3

水が/飲みたい。

静かな 僕は

公園で

/少し/休む。

授業の

/復習を/毎日/行う。

P.8 確認 言葉の単位 帰ってくる ② 文節と単語 呼んでみる

文節と単語の分け方 2

0

弟/に/竹とんぼ/を/作っ/て/やる。

合格/を/目標/に/頑張っ/て/みる。

(3)(2)(1)

世界/の/

人口/が/増え続け/て/いる。

0

笑っている 教えてやる

道を/聞いて/みる。

(3)飛んで/くるのは/鳥だ。 牛乳を /飲んで/いる。

母が/弁当を/作って/くれる。 美容院で/髪を/切って/もらう。

(4)(3)(2)(1)

描きあげた/絵を いとこは/北海道に/住んで/いる。 ,飾って/おく。

近所・図書館・行く

Α

の・に

空/が/明るい。

(順不同)





(2)

(文節) 子供が/プールへ/飛び込む



P.9

定規 /は/いつも/同じ/時間/に/起きる。 /で/線/の/長さ/を/測る。

(4) (3) (2) (1) (4) (3) (2) (1)

玄関

/で/コート/を/脱ぐ。

数学/の/問題/を/解く。

、ス/から/降りる。

、が/きらきらと/光/を/放つ。

「きらきらと」で一単語(副詞)。▼P.70 確認① 赤ちゃん/の/手/は/とても/かわいい。

(2) ァ (3)

ァ

変わっ/て/いく

確認 確認

解説

(3)

/ て/あげる

読ん/で/もらう

P.10

言葉の単位

テスト

0

文節…イ

(3)(2)(1)

文節…ウ

単語…才 単語・・・ウ

文節…ウ 単語・・・エ

解説

(2) と数える。▼P.9 確認 © 「~て(で)~」の形の言葉は、 二文節三単語

(1) (文節)暑いから/帽子を/かぶる。 (単語)暑い/から/帽子/を/かぶる。

2

(文 節) (単語) 子供/が/プール/へ/飛び込む。 僕の/絵を/見て/もらう。

(3)

(単語) 僕
の /絵/を/見/て/もらう。

庭 庭に/赤い/花が/咲く。 /に/赤い/花/が/咲く。

(文節) 数学の/テストの /勉強を/する。

(5)

(4)

(文 節)

数学/の/テスト/の/勉強/を/する。

(文 節) 遅くまで/勉強する。

(6)

(2) (2)の「飛び込む」・(6)の「勉強する」 遅く/まで/勉強する。 は複合

解説

(3)「見てもらう」は、「~て~」の形の言葉なので、 一文節一単語。▼P.9 確認④

3

(3)(1)(1)

2

主語・・飲み物が 主語…これが

述語…ある

述語…作品だ

P.12

確認

文の成分

(4)(3)(2)(1)

主語…タ日が 主語…ピッチャーが 述語…美しい 述語…投げる

①文節の関係

主・述の関係

水が冷たい。 (2) (2)(3) ウ 番犬がいる。 (4) Ξ

これが学校だ。

弟が泣く。 (2) 消しゴムは

確認

②

Û

洗濯物が

彼女こそ

(2)(1)(3)(1) 述語…丸い 述語:勉強する 主語・地球は 主語・・・山田君も

2

P.15



2

(5)(2)(2)

連用

連体

(3)(3)







(5)(2)

咲く

教室で・聞く

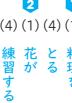








(2)





解説

(2)

ので、二文節三単語になる。▼P.9 確認⑤

③は「できない」、ⓒは「もらわなければ」、

(d)

「たたいてくれる」は、「~て~」の形の言葉な

は「とれないほど」で一文節。

(1)(2)



P.14

確認



文の成分

①文節の関係

修飾・被修飾の関係

料理を

(2)

集まる (3)情報が

人生を (3) (6) 笑う

宇宙に マラソンの (3) とても

8

(2)

すぐに

連体

(3)(1)(4)(1)

連体修飾語…うれしい

(4)

連用修飾語:教室中に 連体修飾語…大きな

連用修飾語・・次々と

()文節の関係

文の成分

(2) だから

P.16

確認

0

(1)

転んだので

(3)だけど

接続の関係・独立の関係

4

P.11

3

(2) 四

8

主語・・・犬は 述語…ある

述語・・鳴きます

主語・・・千円札が

主語・・内容は 主語…君こそ

述語…真実だ 述語…ふさわしい

(3)(2)(1)(3)

(3)(1)

解説

(3)

4

(1)

(文節)たたいて/くれる

(単語)たたい/て/くれる

けが自立語で、「た」「の」「です」は付属語。

「とれたのです」で、一文節である。「とれ」だ

そして/実も/よく/とれたのです。

二文節三単語になる。▼P.9 確認の

P.17 P.20 P.19 P.18 確認 確認 文の成分 文の成分 0 76543 00 0 2 (2)(1) (上から) (4) (1) (4) (1) (1) (4) (3) (1) (1) (4) (1) (1) (1) (1) (4) (1) 提感自立 元 動立 に ち (5)(2)(5)は(2) 1 1 接続部 だから 敗れたが 走ると 困ったので つらいけれど 2連文節 ②連文節 主 (2) ^部 大きくて ひまわりが (2)(2)(2)(2) **ウ**(5) (2)呼びかけ 条件 ほらほら 独立部 (2) (2)2 かし (3)(3)(3)(3)(3)悔しいけれどかし (3) すっ あ あ (3) 2 主部·述部·修飾部·接続部·独立部 (3)(6)咲いた 修飾部 呼びかけ 逆 (3) 接 (3)並立の関係 (4)(4)(4)(4)すると もしもし アア



P.23

P.22



P.24

確認

Û

(1)

(1) (3) (2) (1) (4) (1) (3)

主・述 並 立

修飾

解説

2 2 主部

補助

並 立

主・述

2

成分…修飾部 成分…主部 関係・修飾・被修飾 関係・・修飾・被修飾

2

成分…述部 成分…接続部 関係…補助 関係・・主・述

(2)

2

成分…修飾部 成分…接続部 関係…修飾・被修飾 関係…修飾・被修飾

(3)

成分…独立部 成分…主部 関係…修飾・被修飾 関係…並立

(4)

0

(5)(2)

(3)

ァ

文の成分

文の組み立て

おもしろく・ない

ナイフと・フォークを

大きな・水そうが **食事が・済んだら**

(4)(2)

補助 被修飾

(5)

まとめ

P.26

まとめ

置いて・おくので にぎやかで・ない

(4) (3) (2) (1) (3) (1) (4) (3)

主・述

(4)

補助

(2)

並 立

O

文の成分

(3)(2)(1) 主語・美術館は 述語・・美しい

述語…ある

I

ゥ

ァ

主語…花が

テスト

ī

(4)主語…弟も 述語・・中学生だ

主語・朝露が 主語…食事さえ 述語…通らない 述語・・輝く

③・4 主語には「が」や「は」だけでなく、「も」 や「さえ」が付くこともある。▼P.13 確認の

解説

主語と述語の順序が逆になっている倒置の文。

2 映る 3

2

1

(5)

連用修飾語

映る

(5) 6 連体修飾語

言をふくむ文節を修飾する文節が連体修飾語である。 用言をふくむ文節を修飾する文節が連用修飾語、

▼ P. 15 確認 2

独立語…ねえ 記号…イ 独立語…やれやれ 記号…ア 独立語・・いや (順不同)

記号…ウ

4 作らないと

P.27

解説

独立語は、ふつう、文の初めにくる。 ▼P.77 確認 2

(1)(3)(2) 確かに めったに (4) で も

(順不同)

▼ P. 13 確認 ② 「人たちは・作らないと」は、 主・述の関係。

解説

飾語。▼P.14 確認①

(3)

「確かに」も「めったに」も、「作らない」の修 「(仮に)(料理を)作ったとしても」という仮

解説 6 (1)(3) (3) (2) を詳しく説明する修飾語 で主部となる。 定を表して、あとにつないでいる。 〈キ゚「ぽっつり」は、どのように「見え始め」たか 「親子の」は「銀狐は」を修飾し、 親子の銀狐は 接続語 ▼ P.16 確認 ① ゥ 呼びかけの言葉なので独立語。▼P.17 確認 2 **(b)** (2) 見え始めました

この二文節

テスト 2

文の成分

並立の関係…牛と・馬が 深く・静かな

P.28

0

補助の関係…飲んで・いた 見て・いる (順不同)

補助の関係 ▼ P.22 確認①

解説

並立の関係

▼ P. 20 確認**①**

2 3

ウ

3

ウ

(2) (1) るとき、それらを主部・述部・修飾部・接続部・独二つ以上の文節が結びついて文の成分になってい 1 ァ 2

解説

立部という。▼P.18 確認①

1 並立 2 補助

(2)

(3)(1)

文の成分…主部

文節の関係…修飾・被修飾

(1)(3)I ③は、「守り育てたのです」の主部になっている。 (2) 見て過ごす (3) 1 (4)

P.29

4

解説

解説 文節と文節をつなぐ働きをしている接続語

を詳しく説明する修飾語。▼P.15 確認2 ができるので、並立の関係。▼P.21 確認⊙ 、「恥じたり悔いたり」と順序を入れ換えること

健太郎は (2) 1 I

6

実感しました 2 連用 2 ゥ

(2) (3) (1) 接続部である。 ①「~(する)と」という条件を示しており、 1

解説

(3) 「子供心にも→実感しました」という修飾・被修 るので、「子供心にも」は連用修飾語。▼P.15 確認② 飾の関係。また、用言をふくむ文節を修飾してい

単語のいろいろ 1 品詞分類

品詞の分類

確認

P.30

(1)

O

自立語・・鳥・空・飛ぶ

付属語…が・を

自立語…バラ・花瓶・さす 付属語…を・に

(2)

自立語…家・のんびり・過ごす 付属語…で

(1)

自立語…ここ・学校・歩き 付属語…から・まで・ます

(2)

自立語…私・弟・い 付属語…に・は・が・ます

(3)

7

(順不同

P.31 確認

② 単語のいろいろ(1)品詞分類 O 0 (1) 語形が変化する 2 (2)付属語・・・を・で そうだ 飛ば 1 1 まで・の・ を・に らしい は ・ が (2) は 美しく (順不同) (順不同) (順不同 (3)(順不同)

3

自立語…鉛筆・ナイフ・削る

0

1

体

2

適度な・よい

3 4

> は. 運動・

(①~③は順不同)



P.34

確認

Û

1

自立語

2

名前

2

(4)(1)

気持ち 黒板 3

4 活用

名詞

(2)

青森県

(3)

テント

品詞の分類 2/まとめ

解説 (5)(4)(3)(1)世界・山・エベレスト テレビ・評判・サーカス団 家族・北海道・旅行 新聞・記事 (2)病院・診察 (順不同)

(4) 主語になることができるので、 「評判」は、「評判がいい。」 などのように、 名詞である。

レストラン 料理

P.33

(4)

確認

まとめ

(4)(3)(2)(1)

自立語 自立語

活用する、 活用する、 活用する、

述語になれる

進路

時間

述語になれる 述語になれる

自立語、 自立語、 解説

「たぶん」は活用しないので、用言ではない。

活用しない、主語になれる

「時間」は体言。「そして」「まるで」「あの」

福だ・助ける・丸い (順不同)

はなやかだ

飛び回る

(2)

うすい

P.32

確認

0

0

四月・

机

·時計 (2)

(順不同)

副詞

(2)

連体詞

(3)

接続詞

P.35

(3)(4)(3)(2)琵琶湖 痛み

解説 尾語で、 「痛み」の「み」は程度や状態などを表す接 形容詞・形容動詞の一部に付いて名詞

(3)(2)(1)を作る。 日本 (順不同)

名詞の性質と働き

2名詞

8

P.36

確認

O (3) (2) (1)

1 1

2

2 固有

2

1

普通名詞:麦茶・読書・神社・はさみ 固有名詞:熊本県・源氏物語 固有

2

いとこ 長野県 夏目漱石・イタリア (4)(2)野口英世 (順不同) イギリス

伝記

人気 授業

中山先生

山田さん 改札口

ニューヨーク

解説 (6) (6) (5) (3) (1) 付属語「た」が付いたものである。 「出張した」は「出張する」という動詞に

P.40

確認

O

自立語

活用

2

動詞

四位・十日目・百円・二十人 一時間 (2) (2) 二百頭 (3) (順不同) 何ページ

ため

P.37

確認 2

0

確認

00

(1)(1)

単語のいろいろ (2)名詞

(4)

独立語

解説

葉に付いているものなので、

名詞の一部として

接尾語。上の言

「自分たち」の「たち」は、

いっしょに書きぬく。

主語

(2)

述語

(3)

文法 自分たち

目的

(順不同)

(5)(4)

父 レコード

職員室

(順不同)

0

(4) (1) (4)

とおり ところ はず

(5)(2)

ほう うち

(3)

もの

固有

P.39

O

どれ

(3)(1)(3)(1)(3)(1)

名詞の種類

そちら 人称

確認

P.38

単語のいろいろ (2) 名詞

代名詞/指示語/まとめ

(1)

あなた

(3)

そこ

それ (2) こちら あっち

あなた これ 指示

(2) 君

あそこ

単語のいろいろ (3)動詞

3

まとめ 1

解説

「こ・そ・あ・ど」が頭に付く言葉を探す。(2)

0

あそこ

ど の

こっち

(4)(2)

こ の

どこ

(4)(2)

方向

その こんな

の「彼」は、代名詞ではあるが指示語ではない。

固有名詞

形式名詞

2 普通名詞

4 代名詞

(5)

動詞の性質と働き

述

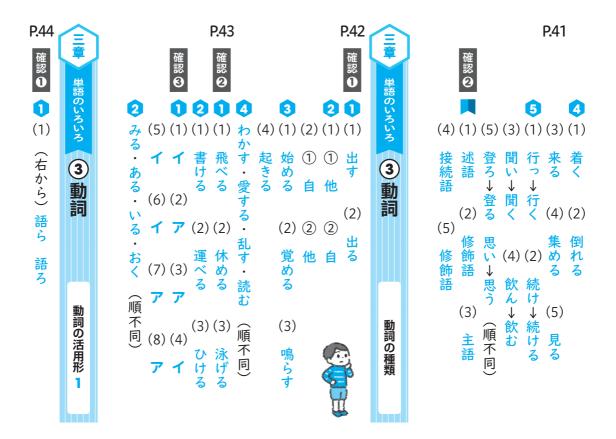
(3)(3)選ぶ ある

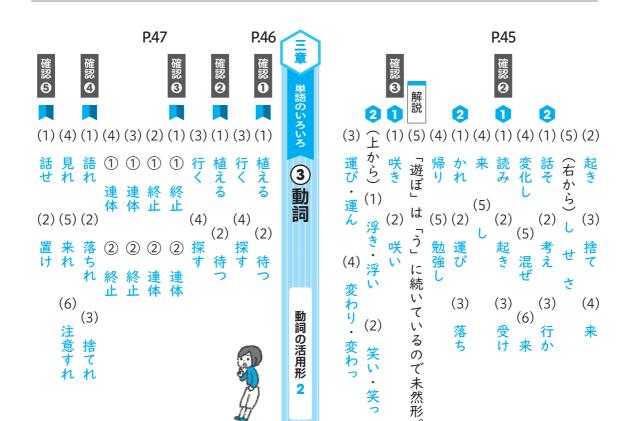
(2)(2)

休む 作る

3 8

(1)(1)③







未然形…話さ・話そ 仮定形…話せ 終止形…話す 活用語尾 命令形…話せ 連体形…話す (2)連用形…話し

P.48

確認



「ち」は活用語尾にふくまれているので、命令形…落ちろ・落ちよ (順不同) 未然形…落ち 仮定形…落ちれ 終止形…落ちる 連用形…落ち 連体形…落ちる

(3)(1)



語幹は「お」だけである。

P.51

4

(3)(1)(3)(1)

(2) 段

待た・五段

五段 五段

(4)(2)

段

3

7 4

8 (5)

9 6 3

上一段 下一段

2

2

五段

6 (4) (1) (5) (4) (3) (2) (1)

力行変格活用…来る

下一段

下一段 サ行変格活用…復習する (5)(2)

下一段活用…切れる・育てる

上一段活用…伸びる・満ちる

五段活用…外す・立つ

固め・下一段 降り・上一段

(1)~(3)順不同)

五段 力行変格 (3)上一段 (6) 五段

1 (7)サ行変格

五段 サ行変格 2

解説

P.49

確認

1

き

2 6

3

じ

じれ

める

7

カ行変格 4 解説

(2)

4 下一 段

4 るので五段活用。 る。「思い出す」は、「思い出さ―ない」とな の未然形。「思い出せ―ない」となるので下 段活用。 「思い出せ」 可能動詞はすべて下一段活用であ は、 可能動詞 「思い出せる」

P.50

確認

O

カ変の動詞…来る

サ変の動詞…する・愛する

(順不同)

単語のいろいろ (3)動詞

活用の種類の見分け方

解説

1 1

2

活用語尾がイ段にだけ活用している。

活用語尾がアイウエオの五段に活用している。

2

五段

2

8 (5)

サ行変格

0

P.52

単語のいろいろ (3)動詞

いる・投書する

まとめ

(6) (4) 「た」に続いているので、 (5)(2) 連用 仮定 連用

(8)

可能動詞…泳げる

(3)

補助動詞…いる

8

0

(2)

求め→求める

呼ん→呼ぶ (6) 来→来る

違える・飛べる

(順不同)

(5)(3)

起き→起きる

注意し→注意する

終止

P.55

6 4

珍しかろ→珍しい

おいしかっ→おいしい

(3)(1)(1)(1)(1)

(2)(2)

(3)

(4)

眠い

(3) 楽しい

32

おかし 形容詞

V

0

長い→長い

重けれ→重い 丸く→丸い

やさしく→やさしい

連用形。「作り」

うれしかっ→うれし

(5)(2) 連体修飾語

(3)

連用修飾語

接続語

補助形容詞/形容詞の活用

単語のいろいろ 4 形容詞

確認 O (1) ほしい

(2)

(3)

ない

P.56

解説

解説

いる。「出会っ」は「出会う」の連用形。

団は未然形。他は連用形。

「やめる」は体言「こと」に続いているので連

「出会った」と「た」に続いて促音便になって

可能動詞…なれる 活用の種類…下一段

0

(1) (4) (1) (4) (1)

出会っ

(2)(5)

(3)

力行変格

音がんびん

(2)

サ行変格

(3)

下一段

ポネネシネ
→「作っ(た)」と音が変わっているので促、

「もらう」「くる」

は補助動詞。

「なる」

(5)(2)(2)

(6)(3)(3)

ァ

ァ (4)

3

2

赤かっ (3)

(6) 赤けれ



形容詞の性質と働き

単語のいろいろ (4)形容詞

P.54

確認 1 1

自立語

活用

2

述語

3

の可能動詞。可能動詞はすべて下一段活用

「なれる」は「なることができる」という意味

体形。ア以外は終止形。

P.57

















未然形…大きかろ 連用形…大きかっ

0

終止形…大きい 大きく

連体形…大きい

4

2

(①と②は順不同)

(3)(2)

かろ かろ

2

う

3

3

けれ

3

(1) (4) (1) (4) (1) (4) (1)

(2)(5)

(3) (6)

けれ

(5)

(6) かっつ

P.59

確認③

Û

うるさ うらやまし

(3)

ただし

2

かろ おおき かなし

(2)

かっ

(3)



恥ずかしゅう

終止

(2)

(3)

終止



たこう

(5)

2

(右上から)恥ずかしかっ・恥ずかしく



P.58













仮定形…新しけれ 連体形…新しい 終止形…新しい



形容詞の音便/形容詞の活用表/まとめ







解説

「ならない」の「ない」は助動詞。

▼ P. 124 確認 **①**

若けれ→若い (順不同)





















P.61

まとめ

忙しく→忙しい

形容詞…よけれ 形容詞…眠かろ 形容詞…涼しく

形容詞…楽しい

活用形…連体 活用形…仮定 活用形…未然 活用形…連用

短かっ→短い



6

(3)(2)(1)(7)(4)(1)

(2)

未然形…新しかろ

0

4

けれ

連用

(5)(2)

(6)(3)

仮定

仮定形…大きけれ

連用形…新しかっ

新しく

解説

に続いているので未然形。 ウ音便 ▼ P.58 確認①

ない」に続いているので連用形。

③ ^ ^

①「と」に続いているので終止形。

(1)(3)(2)(1)(4)(1)

終止 なごう

2

③ (6)

未然 美しけれ

a

b

めずらしゅう

美しい

(5)

美しかろ

(2) 美しかっ

美しく

























1

3







単語のいろいろ (5)形容動詞

活用

2

述語

形容動詞の性質と働き

確認

90

(1)(1)

仮定形…きれいなら

未然形…きれいでしょ

連体形…きれいな 終止形…きれいだ 連用形…きれいに

連体形…きれいです 連用形…きれいでし

(2)(2) だっ のどか

静か

(3)

(4) に

P.64

確認

未然形…きれいだろ

単語のいろいろ (5)形容動詞

形容動詞の活用/形容動詞の活用表/まとめ

(5)

(4)

主語

P.63

満足だっ→満足だ 述語 連用修飾語

懸命な→懸命だ わずかに→わずかだ

のんきに→のんきだ 明らかな→明らかだ

6

耐かだろ→静かだ 立かでしょ→豊かです

(4) (3) (2) (1) (4) (1) (1) (3) 立派だ 便利だ きれいです 活発です

3

(2)(2) 好きだ

(2) 豊かだ

2

(1)

さわやかだ

P.66

(3)(2)(1)(1)(5)

だろ

2

3

3

です

3

でしょ

(6)

(2) な

(3)(3)静かです

必要だ

(4) 2

だっ

て(②と③は順不同

P.67









形容動詞…確かなら 活 (10)(7)(4)(1) 連用 (8)(5)(2) 連用 (8)(5)(2) 連用 連用 連用

(9)(6)(3)

仮定

形容動詞…確実でしょ 活用形…未然 活用形…仮定 (順不同)

さまざまな→さまざまだ (順不同) いやに→いやだ

便利に 便利だろ (5) (2)

2

便利だ 便利だっ (6) 便利な (3) 便利で

品詞名…形容動詞 形容動詞・あ・え 連体 終止形…簡単だ

いは「よい」、 ③は「速い」が終止形。 「い」で終 あは「暖かだ」、②は「真剣だ」 (順不同)

解説

が終止形。「だ」で終わるので形容動詞。

わるので形容詞。

(1)(3)(2)

8

形容詞・い・う

(1)(7)(4)(1)

便利なら

0

(5) (3) (1) (5) (1)

活用のある自立語

ゥ

ゥ

P.70

確認

O

自立語

活用

連用修飾語

単語のいろいろ (6) 副詞

副詞の性質と働き

(3)

(6)(2)

(4)

ウ (4) (2) (6)

はなやかだ

終止形の最後の音で見分ける。 ほしい

解説

しまう いるア くる

P.69

終われば補助形容詞である。 終止形がウ段で終われば補助動詞、

解説

3 品詞名・・ア 品詞名・・・イ 活用形····c 活用形···b

確認

解説

1

(3)(1)

確認

1

品詞名…ウ 活用形…d

「きれいな」の終止形は「きれいだ」。 形容詞:狭い 活用形···連体 (2)

いく

活用の種類…五段 活用形…未然

活用の種類…下一段 活用形…連用

③の終止形は「立てる」。 「て」に続くのは. 形容動詞…巨大な 活用形…連体

解説

連用形。

(3)(2)(1)

冷たい

言う

(5)

(4)(1)追いつく

4 副詞

読む

いきなり (2)

冷たい (2) ほとんど

(3)静かだ

P.71

暖かだ 有利だ

(5)

(2) 形容動詞 結んだ

(3)きれいだ

(6)

高い

激しい

させてみる。活用すれば副詞ではない。 「力強いこぶし」、⑷「簡単なこと」などと活用 (1)「細かい説明」、(2)「にぎやかな歌」、(3) イ (2) ア (3) イ (4) ア

(6) 副詞

確認

0

(2)

のろのろ

P.72

(1)(3)(1)

0 はっきり

たちまち→流行する パタパタと

副詞の種類

P.73 確認 解説 解説 Ô (4) (4) (3) (2) (1) (4) (1) (4) (3) (1) (4) (3) (2) 文節単位で書きぬくことに注意しよう。 ほっと ばったり→会った もっと→すばらしい みるみる そっと→立った 「すぐに」は状態の副詞。 ちょっと→増えた とても ずっと→魅力的だと とても→美しい やや→高い 大いに→結構だ ずいぶん ごくごくと ブンブンと→振り回す っそう→努力したいと (2)(5)(2) わざわざ きわめて (順不同) (3) かなり

(6) (5) (4) (3) (2) (1) (4) (1)

副詞…とうてい 言葉…ない

副詞…仮に 言葉…ても

言葉…ください

副詞…なぜ 言葉…か

副詞:おそらく 言葉:だろう

副詞…どうぞ

P.75

(4)

だろう

(5)(2)

ない

Ô

ても

ようだ

ようだ

副詞…まるで

言葉…ような

(6) (3)

ても

確認 2

だろう

(3)

たい

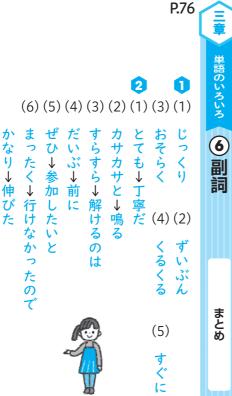
解説

(1)・(3)は名詞をふくむ文節を、

(2)は副詞の文

だいぶ→前の

節を修飾している。



P.74

確認

(4) (1)

ゆっくり

(2)

はっきり

(3)

以前

解説

文節を修飾している。(1・3)は名詞をふくむ文節を、(2・4)は副詞

(2)(1)

もっと→北に

たいそう→のんびりと

単語のいろいろ (6) 副詞

副詞の種類

解説 (4) 文節を修飾している。 「だいぶ」は程度の副詞で、 名詞をふくむ

- かっ」「た」「ので」は付属語。 自立語(動詞「行ける」の未然形)で、「な 「行けなかったので」で一文節。「行け」が
- どうか (2) もし 決して
- どうして (5) まるで

(4)

しばらく・大変・いつも (順不同)

(2) 「いつも→かわいがって/いた」と修飾する。 「ぜひ~ほしい」と呼応する。 「しばらく→下宿する」、「大変→すなおで」、

解説

初めて→焼いた さっそうと→出た なかなか→おいしい (順不同)

やめました 2 回復し

(1)

思い出します

「まるで」と呼応する言葉が入る。 「なぜ」と呼応する言葉が入る。

解説

(2)(3)(2)

常に・すでに

(順不同)

ようだ

В

(3) 「確かに」は形容動詞「確かだ」の連用形。 ここでの「多く」は形容詞「多い」の連用形。



P.79

4

この→本は

(5) (4) (3) (2) (1) (1) (1) (1)

3

いろんな

その

(2)(2)

事件が (2) おかしな どの

(3) (3) 原宿か たいした

4 連体詞

連体修飾語

3 どんな

O

P.78

確認

活用

自立語

単語のいろいろ (7)連体詞

連体詞の性質と働き

いろんな→情報を

とんだ→迷惑を

去る→十月四日に

ある→日曜日 たいした→熱では 我が→町の

その→日は

(順不同)

「少し」「すぐに」は副詞である。

解説

単語のいろいろ (7)連体詞

確認

0

P.80

(3) (2) (1) (4) (1)

0

小さな→容器を

とんだ→勘違いを

あらゆる→状況にも

映像を 本を

(2) (5)

体験を 猫が

(3)

連体詞の特徴/まとめ

P.81 確認 確認 まとめ 解説 解説 解説 解説 | 連体修飾語にしかなれないかどうかを考える。 | (1) ア (2) (2)(1) あの・ある・とんだ (順不同) 連体形。 「別の」は、名詞「別」と付属語「の」。 詞)。「すてきな」は形容動詞「すてきだ」の 連体詞は主語になることができない。 「小さい」は形容詞。「これ」は名詞(代名 手は 去る 2 瞳を 人と



P.84

2

ところが

したがって

あるいは

なお

(5)

それとも

(6)

なぜなら

だから

ところで

(3)(4)

まとめ

感動・・・へえ・あっ

(順不同)

呼びかけ…ねえ

応答…ええ

あいさつ…さようなら

P.83

だから

しかし

また

(2)

それとも

なぜなら

(2)

ところで

(2)

(3)

2

すると

接続詞

(3)

(1)(3)

接続語語

P.82

確認

Ô

活 ④ 用

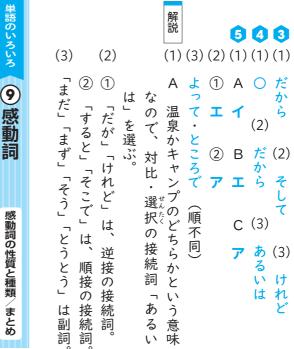
2

文

文

単語のいろいろ 8接続詞

接続詞の性質と種類/まとめ



P.85

解説

P.88

確認

(1) (5) (1) (8) アウ

(6)(2)

まとめ

(8)(4)

「ところが」は逆接の接続詞。ともに前後の (1)の「だから」は順接の接続詞。 (8) の

文と文をつないでいる。▼P.82 確認2 「すでに→迎えて/いた」と修飾する副詞。 (3)の「ある→人の」、(7)の「どの→方

法が」と、体言をふくむ文節を修飾していて

(4) · (6) (5) るときに使う感動詞。(6は、 活用しないので、連体詞。 「そう→思って/いたなら」と修飾している。 (4)の「もしもし」は、 あいさつを表す。 相手に呼びかけ

「こう・そう・ああ・どう」は指示語で、副詞。

立てたい 1 (2) 災難をア

確認

(1)

かわいい

(1) (3) · (3) * くむ文節、 「ずいぶん→かわいい」と、それぞれ動詞をふ (1)は「しっかりと→立てたい」、 形容詞の文節を修飾している副詞 (3) は

「とんだ→災難を」と、体言をふくむ文節

を修飾しているので連体詞。

かなり→売れたので

たいした→度胸だ

あらゆる→可能性を

「この」は連体詞。「本は」を修飾する。

(2) 「堂々と」は副詞。「言えるなんて」を修飾

「常に」は副詞。「秘めて/いる」を修飾す

副詞…さっそうと 連体詞…去る

「盛大な」「盛大で(ない)」などと活用するの 「盛大に」は、「行われた」を修飾しているが、

形容動詞「盛大だ」の連用形。

接続詞

副詞

確 認 **③**

(2)

(3)

(1・2) (1)は、「また」の位置を変えて「電話が(4) 感動詞 またかかってきた」としても意味が通じるが、 をふくむ文節を修飾。4は相手に呼びかけて ②の「また」は、位置を変えることができない。 いる感動詞で、文中では独立語になっている。 (3)は「ちょっと→泳いだ」と用言(動詞)

(3)(2)(1)

ウ

副詞…よほど→多いと

1 連体詞…その→体の の文節を修飾している副詞 「たくさん→食べる」と用言 (動詞)

解説

(1)

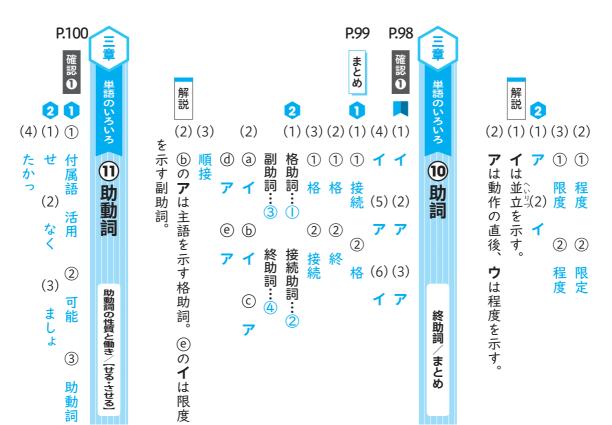
接続詞。 前後の文を逆接の関係でつないでいる

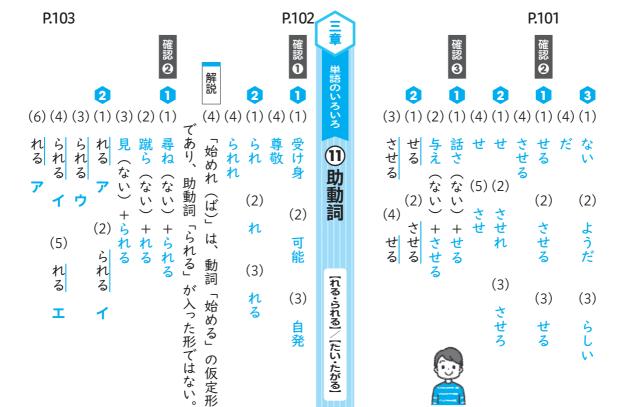
ている連体詞

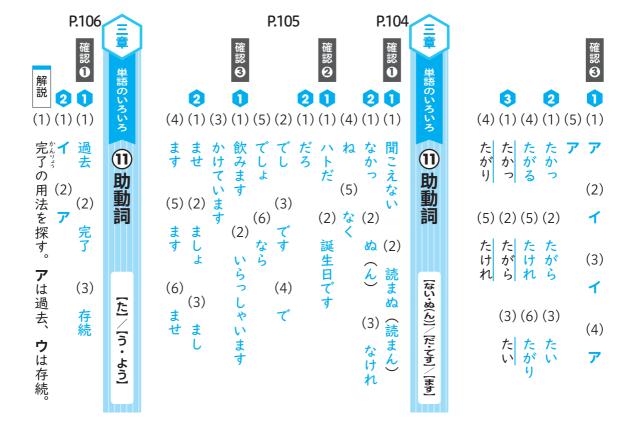
体言をふくむ文節

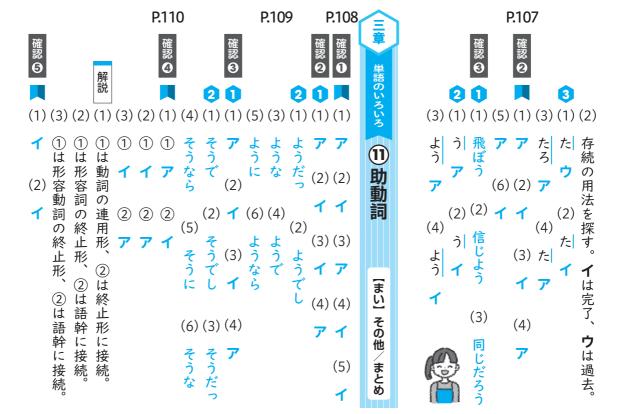
「種類の」を修飾し

P.93 P.92 P.91 P.90 確認 単語のいろいろ Û 2 3 0 (4) (1) ② $(1)(4)(1) \leftarrow (1)(2)(1)(1)(1)$ (1) (2) (3)(1)(3)(上から)が 説明・ を修飾する言葉から、 イ (2) ウ (3) アイは主語を示す。 比較 [主語を示す] …の 副詞 場所 並立 が [連用修飾語を示す] 文末に「食べてしまうからだ」 4 10 "属語 の基準)助詞 の場合は用言を、 補足を表す接続詞を選ぶ。 詞 文の初めにあり、 (2) (2) (2) (2)(2) (2)3 ゥ から (5) ので 時間 場所 助詞 (3)**ഗ** 活用しないものを探す。 (3)連体詞の場合は体言 感動を表している感 ゥ (3)ァ 助詞の性質と種類/格助詞 (3)を は 起点 (4)(4)に とあるので、 (順不同) 1 ァ P.97 P.96 P.95 P.94 確認 2 確認 確認 単語のいろいろ 単語のいろいろ 解説 20 Û 3 3 (1)(2)(1)(1)(2)(1)(1) (3) (2) (1) (2) (1) (4) (3) (2) (1) (5) (1) (1)1 1 1 10 アは限度を示す。 アは類推を示す。 1 10 並 立 逆接)助詞 限定 類 (2) 推)助詞 仮定 順接 並 立 (2) 接 (2)(6)(2)2 2 2 1 2 2 2 2 2 2 2 程度 例示 並 立 並 立 (3) 順接 (3)ウ 逆接 逆接 接続助詞 副助詞 (4)並立



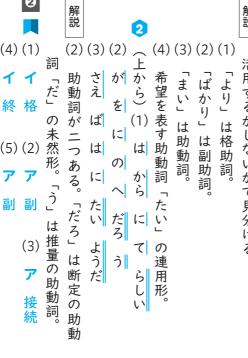








たい



続助詞。**イ**は主語を示す格助詞の「が」。 「尋ねたが」の「が」と**ア**は逆接の接

確認 ②

「~のために」という原因・理由を示す。

P.114

0

(5) (1)

カア

6 2

オイ

7 3

サエ

コウ

8 4

テスト



解説

3

集まる→自動詞

始める→他動詞

P. 31 確認 2·3

〔付属語〕 「ます」と「た」が助動詞。

=形容詞 「買う」

Ш

 \parallel

名詞

鳴る→自動詞

4

(1)

他動詞・自動詞 6 2

▼ P. 42 確認 ① 3

オ

7

ァ

4 ァ

1 寒い・なかっ を修飾している。 「ある→夕暮れの」と、体言をふくむ文節 (順不同) (3)

「あっ」は補助動詞(形式動詞)「ある」の

解説

(1)(2)

(2)「ひどい」は形容詞。終止形が「い」で終わる 連用形。▼P.43 確認③ なお、 断定の助動詞「だ」の連用形。 直前の「で」は

(3)→「走れる」のように、可能動詞になるのは、五段 用言を探すとよい。▼P.54 確認① 付いたものなので、可能動詞ではない。▼ P.42 確認の 活用の動詞のみ。アの「見られる」は、 「泳ぐ」→「泳げる」、「話す」→「話せる」、「走る」 動詞「見る」に可能の意味の助動詞 「られる」が 上一段活用

() ク

9

(3)

セ

(4) (1)

解説

〔自立語〕 「上等だ」 =形容動

(付属語) を・ます・た・よ

(順不同 詞「服」

2

(自立語)

上等だ・服・新しい・買う

(順不同

(12)

ス

ば「られる」を付けて「見られる」となる。「見られる」を る」などであり、「着られる」「起きられる」とするのが正しい を付ける言い方を「ら抜き言葉」という。「着れる」「起きれ る」という意味で「見る」に可能の助動詞を付けるとすれ 「見れる」という可能動詞はない。また、「見ることができ 「見れる」と言うのは、 このように、本来「られる」を付けるべき動詞に「れる」 五段活用の動詞以外は可能動詞になれない。 文法的には誤った言い方である。 したがって

全 く 何 も助詞 我 名詞 Q に助詞 は助詞 判

(2)(a) [活用形…ア 活用の種類…ア (1)

「全く」は「判らぬ」を修飾する副詞。「全く~

(1)

b

活用形…イ 活用の種類・・・イ

Ġ

ぬ助動詞

(2)**(b)** (a) な言葉が下に続くかで見分ける。▼ P.44~47 前の音で見分ける。▼P.50 確認① 活用形は、 ぬ」と呼応し、否定を表している。▼P.74 確認の 活用の種類は、「ない」を付けてみて、その直 なので五段活用。「ぬ」に続いているので未然形 「分から―ない」と、「ない」の前がア段の音 「生き―ない」と、「ない」の前がイ段の音な どん



ので上一段活用。「て」に続いているので連用形

形式名詞…こと 固有名詞…東京

代名詞…それ 数詞…ひとり 普通名詞:人間

文明

大都市

(順不同

解説 3

名詞の種類 ▼ P.36~39

形容詞…さわがしい 活用形…エ

形容動詞…静かに 活用形… イ

P.116

(10)(8) (4) (1) (6) (1)

テスト

2

「行かない」を修飾する副詞。 エ (7) イ (3) フ (9) (4)

(9)(4)

(3)

「置かぬ」と言い換えることができるので、

名詞として扱う。

850 品詞から転じた名詞を「転成名詞」といい、 品詞から転じた名詞を「転成名詞」といい、 もの。「近い所」という意味。このように、

普ふ他 通うの

(10)(5)

カケ

文の成分としては独立語だが、品詞は名詞 自立語。

終止形。▼P.104 確認①·2

「ない」は助動詞。

ウは断定の助動詞「だ」

の 2

語で一文節を作っているので、

「大きい」は形容詞だが、「大きな」は連体詞



▼ P. 62 確認**①**

⑤は格助詞。その他は断定の助動詞

「だ」の連

終止形が「だ」で終わるのは、

形容動詞である。

「見るだけで/あった」の連文節を修飾する副

形容詞 ▼P.54 確認① · P.57 確認②





(8)

うは終止形。その他は連体形。

分ける。▼ P.46 確認3

連体形は語形が同じなので、

あとに続く言葉で見

動詞の終止形

۲

用形。

▼ P. 121 確認 **4**

P.117

われば形容動詞。▼P.62 産認①

で終われば形容詞。▼P.54 確認① 「だ・です」で終

形容詞か形容動詞かは終止形で見分ける。「い」

(7) (6) (5) (4) (2) (1)

品詞名…形容詞

活用形…連用形

ちらりと

終止形…不思議だ

品詞名…形容動詞

確認

ゥ

【ある】の識別問題

名詞

(3) В

ゥ

力

С Ι 解説

P.118

四章

重点学習

(1) まぎらわしい語の見分け方 [ある] /[が]



動詞



(3)(1)

連体詞

(4)(2)連体詞



P.119





解説

がえやすい。▼P.96 確認①

は副助詞。

主語を作るので格

助詞とまち

「近く」は、形容詞「近い」

が名詞に変わっ



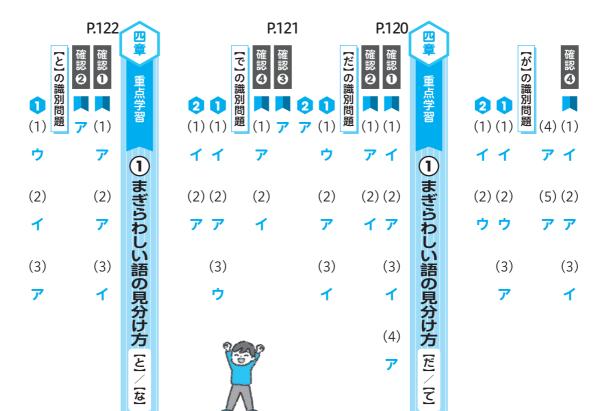


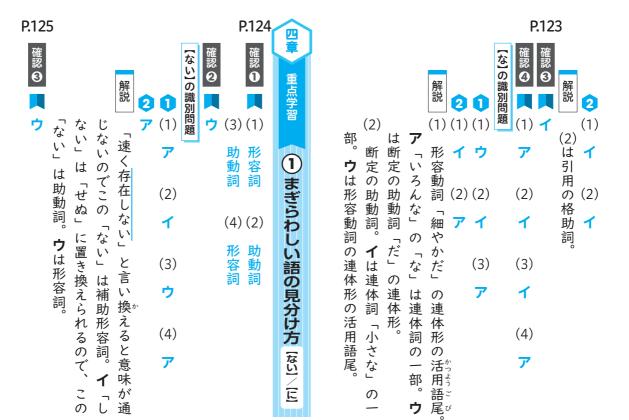


ァ ァ



ァ





の

ウ

この



アは副詞の

解説

(1)は可能、

(2)は自発、

(3)は受け身、

(4)は尊敬。

8

(2)

(3)

ァ

(4)

ゥ

は尊敬。

ウは形

P.128

係る

受ける

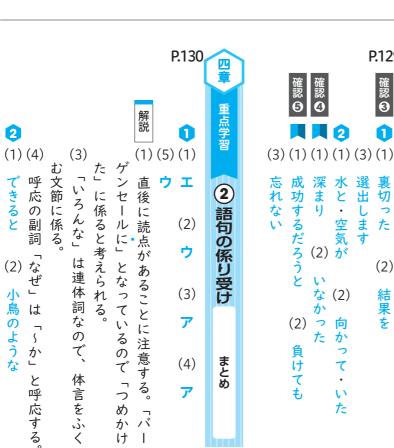
(2) 語句の係り受け 語句の係り受けの求め方

P.129

選出します 裏切った

(2)

ァ



P.127

確認❸

【れる・られる】の識別問題

解説

(1)とイは受け身。

アは尊敬、

ウは可能、

I

は自発。

(2)とエは可能。

アは受け身、

イは自発、

(1) (1) (5) (1)

(2) (6) (2)

I

ァ

(3)

1

(4)

ゥ

ゥ

解説 (2)(5)(4)(3) 認識しておくべきだと 消滅しないと

走っていたのを

「まるで~のような」と呼応する。

すぐあとの「真剣に考える」ではなく、「認識に 「しっかりと」の直後に読点があるので、

しておくべきだと」に係ると考えられる。 A…なかったので B: 驚いた

A…面白がるので B…報告する

A…開けると B…して

(5) (4) (3) (2) (1)

B「して」の直後に読点があるので、 A…あったのを B…見つけたので A…話される B…口調で

解説

(2)

その

確認

解説

(3)

(3) に係る。 範囲内で係る言葉を探す。 「よく」は、「得る」ではなく「報告する」

「重々しい」はどちらも「口調で」に係っている。 ふくむ文節を修飾する。B「静かな」とA「ときどき」は状態の副詞。主に動詞を

週間ぶりの 向いた

しなかった

(2)(1)

1

3 I

2

4

見た

「昨日→してしまった」と係る。

解説

(3)(2)(1)(3)

「一週間ぶりの→会話を」「照れ笑いを交え 「決して~ない」という副詞の呼応。

P.133

Û

(3)(2)

確認 (1)

丁寧語

P.132

行きます いらっしゃる

尊敬語

伺う 謙譲語

2

O (1)

(3)(1)(3)(1)行きました いですか

(2)

ァ

(2)

「食べます」は丁寧語ア (2) イ (3) 「ます」が使われてい (4)

相手の動作を高めた言い方は「召しあがる」。 調べられる

起きられる 話される (2)

お書きになる (2)お付けになる

P.134

3

(3)

(3)(1)

ご説明になる

召しあがる (2) おっしゃる

いらっしゃる (4) くださる

(3)

話し手が自分の言葉遣いを上品にするために使「お茶」「お米」「お金」は丁寧語(美化語)。 田中様・お名刺・どなた・お名前 事物にしか使わないので、 う言葉である。「お名刺」「お名前」は、相手の 尊敬語である。 (順不同)

解説

敬語の種類

敬語の種類と使い方

た→会話を」と係る。

確認
②

Û

(2)(2)

3 2

お書きになって

(5) (4) (3) (2) (1) (1) (1)

P.136

確認

敬語の種類

尊敬語と謙譲語の使い分け

P.139

確認

O

(1)

(3)

ァ

(1)(4) (2)

(4) くださる いらっしゃる (5)

2

(2) 拝見し

(3)

なさる おる

(3)(3)おっしゃる (4) (4) (6) ァ

ァ

ご案内します (ご案内いたします) お読みになった お待ちしています お話しします(お話しいたします) P.135

確認

0

(2)(1) ァ

1 (3)

(4)

ァ

(5)

解説

(順不同)

……になる」と言うのが普通である。

た」としても間違いではないが、「お(ご)

(1)・(4)は「お書きなさって」「お読みなさっ

「ご研究」「井上殿」「御社」は、小社・拙宅・粗品・私ども・愚息 は丁寧語(美化語)。 を高める言い方なので尊敬語。「お花」「お茶」 は、相手のこと

解説

さしあげる ご連絡する お書きする (2)(4)(2) ご心配する お渡しする

3

(3)

伺う 申しあげる

3 伺い

② いただき

6

① (5) (3) (1)

お目にかかる いただく

P.138

五章

敬語

敬語の種類

いろいろな敬語/間違えやすい敬語

確認

(5)(1)

(6)(2)

(3)

(4)

「お風呂」は、相手への敬意ではなく、自分の言葉や「ご」なので、尊敬語。「ご飯」や「お寿司」、 (1・2・6)は、相手の事柄に付いている「お」

(1)(1)(1) を美しくするものなので美化語。 ァ

(2)(2) 1

(4)

ゥ

先生の動作なので、「見る」 (3)(3) I

覧になる」を使うのが正しい。 相手の動作なので、「ご記入になっ(て)」 の尊敬語「ご

(2)

とする。

動詞「れる」と尊敬語「いらっしゃる」があ 「お話しになる」の尊敬表現に、 敬語の重ねすぎである。 尊敬の助

「お兄さん」を「兄」とする。 いらっしゃった (2) |例| お伝えになって(お伝え)

(5) (4) (3) (1) (4) 申して

|例|| ご持参になっている (ご持参なさっている)

五章

テスト

解説 (1)

(5) ウ (6) ア (1) イ (2) ウ (3) イ (4) ア で謙譲語、(3)は言葉遣いを丁寧にする丁寧語。 (1)は相手の動作なので尊敬語、(2)は自分のも (2)謙譲語 (3)(2は自分の動作なの 丁寧語

(2)

(4)(1)(5)(1)

おっしゃい さしあげ

(3)

いらっしゃる

(2)(5) 伺う

4

出かけて

例 ご訪問になり (ご訪問なさい)

(3)(7)(6) 「伺う」は「行く・来る」の謙譲語。 「 先 生

解説

(4) う謙譲語。尊敬語「おっしゃって」ではなく も」が主語になるので尊敬語を使う。 謙譲語「申して」を使うのが適切。 「弊社」は、 自分の会社をへりくだって言

表現「ご……になる」+「……れる」+「いら 「お(ご)……する」は謙譲語。「国王」が しゃる」と、 敬語が二重、三重に重ねられている。 敬語が重ねられている。 尊敬

解説

(1)

敬意を表す言葉。「つつしんで申しあげます」と

「拝啓」は、手紙文の初めに書いて、

相手への

(「お元気」「申され」は順不同)

申され→[例] おっしゃい(言われ)

いう意味の謙譲語。「敬具」で結ぶ。

(5)

(6)

なる」を使う。 の「ご」は尊敬語なので、 動作の主体なので、 身内に尊敬語を使うのは間違い。「ご病気」 尊敬語「お (ご) ****・に 取って「病気」とする

P.142

解説

総合テスト

1

総合

0 文節…五 単語・・・ハ

料理/の/手法/を/学ぶ。」「伝統的な」は一文節 を/学ぶ。」 単語:「ヨーロッパ/の/伝統的な/ 文節…「ヨーロッパの/伝統的な/料理の/手法

2

解説

(2)(1)

動詞

(2)

一単語。▼P.6~9

1

2

I

▼ P. 14 確認 ①

補助の関係 ▼ P. 222 確認 **①**

I

解説 3 意味が通じれば形容動詞。▼P.125 産家3 他は形容動詞。「~な」という形に活用させてみて 上は名詞 「脇道」に格助詞「に」が付いたもの。

P.141

(1)(3)

いただき

(4) 拝見いたし

いただき

(5)

聞く(尋ねる)

お元気→元気

(7)(6)(4)

決まりましたら

(2)

謙譲語 (3) になる (なさる)

解説

総合

2

総合テスト

(1)(1) 対処して/いかなくては/ならない。」 文節…「問題に/対して、 (2) /柔軟な/

P.143

解説

(2)

「の」に続いているので連体形。▼P.46 確認③

解説

(1)

(2)

並立(2) テレビ

テレビや電話を

▼ P. 20 確認 ①

2

(1)

(2)

付属語…「問題に)/対して)、/柔軟な/発想で)

対処して

/いかなくては

/なら(ない°」▼P.6~9

解説

「驚き」

は、

動詞

「驚く」が名詞に変わっ

た転成で

名詞。

アは助動詞、

ウは動詞、

工は副詞。

4

連体修飾語

活用の種類の見分け方 ▼P.50 確認①

(1)(2)

活用形…連体形

可能動詞…つくれる

4

解説

(1)

可能動詞 (2)

▼ P. 42 確認 ② ① ようだ

2 ゥ

イは主語を示す。他は連体修飾語を示す。

P. 91 確認 **2** 1 「ように」は、 「まるで生き物みたいに…」というたとえ 助動詞 「ようだ」の連用形。

(2)

2

の意味。▼P.18 確認2 ② ア

解説

1 1

(1)(1)

(2) a

 $^{\circ}$

「ぬ」に置

き換えて意味が通じれば助動詞の 動詞に付いているので助動詞。 「ない」。

P. 124 確認 ①· 2

2 ウは断定の助動詞。 格助詞で場所を示す用法。 エも格助詞だが、 イは接続助詞 原因

理由を示す用法。 格助詞 ▼ P. 92 確認 **④**

見分け方 ▼ P.121 確認 ②

▼ P. 95 確認 **④**

(2)格助詞と接続助詞の見分け方

P.145



解説

すべて体言(名詞)をふくむ文節を修飾してい記号…ア 品詞名…連体詞 ③ 形容動詞

(3)

解説



ウ

▼ P.15 確認 ②

まぎらわしい語の見分け方 (2) ア (3) (4) ▼ P. 123 確認 **④**

(1) (1) (2) 引**ウ** (3) 引用の格助詞を探す。 ▼ P. 92 確認 **④** ア は 並 立、 イは共同を示

(2)工は起点を示す。▼P.92 確認4 比較の基準を示すものを探す。 イは限定、 ウ

(3)助動詞。 れる・られる ▼ P.127 確認 **3** 受け身の助動詞を探す。 工は可能動詞「走れる」 アは自発、 」の活用語尾。自発、ウは尊敬の の

可能動詞 ▼ P. 42 確認 ②

過去の助動詞を探す。 ア・ ウ・ 上は断定の助動

(4)

P. 120

6 (1) (2)

解説

「気さえする」

の

破った 2

1

「さえ」 は添加を示す。

アは

私・毎朝・公園・走っ・い

活用形…連体

(4)(3)を作れる。▼P.30 確認① 自立語は、 文節の初めにあり、 それだけで文節

解説

(2) ている。▼P.22 確認① 「みたい」は上の語に補助的な意味を付け加え 「温かい」は自立語で活用があり、終止形が

連体形。▼P.57 確認2 い」で終わるので、形容詞。▼ P.54 確認① また、「気持ち」という体言を修飾しているので.

と、直前の音が工段となるので、下一段活用。 「受ける」に「ない」を付ると、「受け―ない」

P. 50 確認 ①

また、「ます」に続くので、 連用形。▼P.48 確認①

3

「ボクは」は、

述語「破った」に対する主

語の働きをしている。▼P.12 確認①

語になることができるのは副詞。▼P.70 確認①

活用のない自立語で、それだけで連用修飾

ふくむ文節を探す。▼P.15 確認② · P.28 確認① とあるので、「とうとう」が修飾する用言を 説明の文に、「とうとう」は「連用修飾語

品詞…形容(詞)

総合テスト 3 (2)

(形

P.147

(2)

限定を示す。▼P.96 確認①

(1) (3) (1)

(2)

Ι

I

 \blacksquare

あきれたように」で一文節。▼P.00 確認① 「た」と「ように」は付属語(助動詞) なので、

(2)Ⅰ 「に」は活用のない付属語。▼ P.90 確認 ①

に」の活用語尾。問題文とキの「に」は場所形容動詞「さわやかだ」の連用形「さわやか そうだ」の連用形「そうに」の一部。 力は接続助詞「のに」の一部。クは助動詞 ケは

(3) 問題文の「諦めよう」の「よう」は、を表す格助詞。▼P.125 確認③④ 意志を表

す助動詞。▼P.10 確認 2

3 (2) (1) のが正しいのに、謙譲語が使われているから。 例 主語が「先生」のときには、尊敬語を使う 例 なさっている(されている)

(1) (2) 「して」の部分を尊敬語に直す。▼P.136 確認①

解説

相手の動作については尊敬語を使うことを説明

する。 ▼ P.132 確認 **①**

= (2)

解説

読まれて

(3)

「れ」は尊敬、「まし」は丁寧、「た」

は過去を

表す助動詞。▼P.102 確認① · P.105 確認③

▼ P. 106 確認 **①**

を修飾しているので、修飾・被修飾の関係。 ゆの「いる」は動詞で、「学校に」が「いる」 ア・イ・エは、 補助の関係。▼ P.22 確認①

2102R1